

FlukeView Forms

文書作成ソフトウェア

チュートリアル 2: メーターのデータを整理する方法

はじめに

このチュートリアルでは、フォームがどのようにメーターのデータを表示させるかの設定方法について説明します。このチュートリアルでは、**【保存】** コマンドと **【名前を付けて保存】** コマンドを使ってフォームを保存した場合の違いについても説明します。

チュートリアル

FlukeView Forms は、メーターからデータをフォームに素早く簡単に転送できるように設計されています。記録されたり、メーターのメモリーからアップロードされたり、フォームにコピーされたメーターのデータは、フォームにあるグラフや表で自動的に表示されます。

しかし、収集したメーター データのある一部分だけをフォームに表示したい場合があります。例えば、数時間メーターにデータを記録した後で、入力データが特異である 2 分間だけをフォームに表示したい場合があります。

このチュートリアルの目的上、フォームにすでに保存されているデータをフォーマットします。しかし、これらの方法は、まだ保存されていないメーターのデータを含む新しいフォームでも同様に動作します。

フォームのテンプレートには、メーターのデータやユーザーのデータを表示するフィールドとなるフォーム項目が含まれています。このチュートリアルでは、「フォーム項目」という言葉が一般的に使用されており、特定のフォーム項目名は鍵括弧で囲まれています。例えば、ラベルのフォーム項目は、このチュートリアルでは <ラベル> と表記されています。

グラフでメーターのデータを反転表示状態にする方法

ここでは、30 分間記録したデータを含むフォームを開きます。このデータのごく一部だけが意味ある値を示しています。<記録した読み取り値のグラフ> フォーム項目をこのフォームで使用し、意味あるデータに焦点を絞ります。

1. Windows の **【スタート】** メニューから *FlukeView Forms* を開きます。
2. 現在使用しているデータベースのパス名が、*FlukeView Forms* の上部にある青いタイトル バーに括弧付きで表示されます。このパス名を覚えておきます。このチュートリアルで別のデータベースに変更し、チュートリアルが終了した時点で元のデータベースに戻る際にこのパス名を使用します。
3. **【ファイル】** メニューから **【データベースを開く】** を選択します。*FlukeView Forms* がインストールされているディレクトリを探します。ここでフォーマットする保存したフォームが含まれている **tutorial.fdb** というデータベースを開きます。
4. **【ファイル】** メニューから **【保存フォームを開く】** を選択します。tutorial.fdb データベースで保存したフォームがすべてダイアログボックスの一覧に表示されます。

5. **【表示するフォームの選択】** で、フォームのテンプレート「**チュートリアルの電圧レポート**」で保存したフォーム「**8/31/00 14:16:00 - データフォーマットの例**」を選択します。保存したフォームが *FlukeView Forms* で開きます。

このフォームのハイライトは、<記録した読み取り値のグラフ> で 30 分間の記録期間の DC 電圧が表示されている部分です。グラフには、記録期間の最後の一瞬電圧が下がっている以外は、記録期間全体に渡って 2 V DC の一定した電圧が記録されています。グラフのこのイベントを反転表示状態にしてみます。これには、<記録した読み取り値のグラフ> のズーム機能を使います。

1. カーソルをグラフの軸で囲まれているデータ領域に移動します。電圧が下がっている場所の近くでマウスボタンをクリックしてそのまま保持します。
2. マウスボタンを押しながらカーソルを電圧が下がっている領域にドラッグします。カーソルをドラッグすると、カーソルが拡大鏡のカーソルに変わり、現在のカーソル位置とマウスを初めにクリックした場所の間に四角形が表示されます。
3. この四角形をグラフで電圧が下がっている領域を囲むようにし、マウスボタンを放します。グラフが四角形で囲んだ領域を拡大表示し、データの詳細が表示されるようになります。

拡大表示したい領域を囲めなかった場合は、拡大表示を取り消します。これには、グラフを右マウスボタンでクリックし、ポップアップメニューから **【ズームの取り消し】** を選択します。これで、グラフが拡大されていない元の状態に戻り、拡大を初めからやり直すことができます。拡大されているグラフをさらに拡大することもできます。手順 2 と 3 を繰り返して希望どおりの拡大表示にします。右マウスボタンを使って **【ズームの取り消し】** を行うと、いつでも拡大していない状態に戻ります。

【保存】 および 【名前を付けて保存】 コマンドの使用

グラフを電圧の下がっている領域で希望どおりに拡大できたら、フォームを保存します。拡大されたグラフがフォームに保存されます。これにより、保存したフォームを表示すると、いつでもグラフが拡大されている状態で表示されます。

フォームに加えた変更は、**【保存】** または **【名前を付けて保存】** コマンドのいずれかを使って保存することができます。**【保存】** を使うと、このフォームに加えたすべてのレイアウトや編集によって、以前に保存したフォームに上書きされます（保存したフォームに表示されるオプションのメモ等も含めて）。現在選択されているフォーム テンプレートの保存したフォームの数は変わりません。

【名前を付けて保存】 を使うと、加えた変更を新しい保存フォームに保存できます。現在選択されているフォーム テンプレートの保存したフォームの数は 1 つ増えます。

拡大したグラフを **【名前を付けて保存】** を使って保存するには、次の手順に従います。

1. **【ファイル】** メニューから **【名前を付けて保存】** を選択します。**【新規フォームの追加】** が選択されている状態で **【保存】** ダイアログ ボックスが開きます。
2. **フォームのメモ** として「拡大グラフ」と入力し、**【保存】** をクリックします。
3. FlukeView Forms のツールバー上で、このテンプレートに保存したフォームの合計数が画面上部、右側にある **【保存フォーム】** ドロップダウン・リストで 1 つ増えていることに注意してください（フォームのテンプレート名は「**フォームの選択**」のツール・バーに表示されています）。
4. ツールバーの **【保存フォーム】** にあるドロップダウン・メニューを開きます。新しく保存されたフォームが一覧に追加されており、現在の日付および時刻と「拡大したグラフ」というメモが表示されていることに注意してください。これが、整理して、保存したフォームです。

チュートリアルの終了

これでチュートリアルが終了しました。実際に使用するデータベースに戻ってください。**【ファイル】** メニューから **【データベースを開く】** を選択し、このチュートリアルを開始する前に使用していたデータベースを選択します。

注記

- このチュートリアルの目的で保存したフォームをフォーマットする方法は、まだ保存していない新しいメーターのデータを含んだフォームにデータを保存する場合にも使用できます。
- メーターから受信したデータは削除**されません**。グラフを拡大してデータの一部だけを表示している場合でも、<読み取り値の記録表> にはメーターから受信したすべてのデータが表示されます。
フォームから無関係のデータや大部分のデータを削除するには、「チュートリアル 3: フォームのデータを編集する方法」を参照してください。
- 記録された読み取り値のグラフには、拡大のほかにもさまざまなオプションがあります。グラフを右マウス ボタンでクリックして、レイアウトのオプション メニューを開きます。レイアウトのオプションについて詳しくは、[レイアウト] メニューから **【ヘルプ】** を選択します。
- フォームの他の部分も整理することができます。表や他のフォーム項目は、表示オプションによって表示または非表示にすることができます。これには、フォーム項目を右マウスボタンでクリックし、ポップアップ メニューに利用できるフォーマット オプションを表示します。また、<メモ> などのユーザーのデータ フォーム項目を追加したり、編集することもできます。新しいまたは更新されたユーザーのデータは、フォームを保存する時に保存されます。

次のマニュアルも参照してください

- *FlukeView Forms ユーザーズ マニュアル*、「フォームの使い方/既存のフォームのデータを整理する方法」

